

令和7年度 事業報告

事業の概要

人口減少、少子高齢化の一途をたどるなか、地域内の労働力人口が減少し、高齢者のより一層の活躍が期待されております。また人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っているところです。

令和7年度は「会員の拡大」「就業機会の拡大」「安全・適正就業の推進」に重点をおき、事業を展開して参りました。会員数については、前年度末より2名増の490人となりました。受託事業は、公共事業の契約変更や記録的な猛暑・暖冬などの気候変動の影響を受けて前年度を660万円下まわり、1億8,282万円となり、天候に左右されない就業機会の開拓の課題を残す結果となりました。安全就業については、10月に会員の尊い命が失われる就業事故が発生してしまいました。ご冥福をお祈りするとともに、重篤事故の防止に全力を尽くしてまいります。

当センターの運営にあたり、会員の皆様の日頃のご尽力とご協力に深く感謝申し上げますとともに、由利本荘市をはじめ関係機関のご支援、地域の皆様のご理解ご協力をいただいて事業展開が出来たことに深く感謝いたします。

1. 就業機会開拓・会員拡大とシルバー事業の普及啓発

会員、役職員による「一紹介・一開拓」を目標に、就業機会・会員拡大に努めました。

3月から9月までは毎月、市の広報ゆりほんじょう（全戸配布）に会員入会説明会のお知らせを掲載し、定期的な会員入会説明会を開催したほか、地区の連絡所でも随時受付を行い、各地区での出張説明会も10月～11月、2月から3月の2回開催しました。また、月に一回ハローワーク本荘において高齢者に対する就業相談窓口を設置しました。

就業開拓・会員募集の広告を市内全戸配布の「由利本荘市暮らしのガイド2025」に掲載したほか、女性部会ではコケ玉作り、美味しいお出汁の講習会を開催し、女性会員拡大と退会者抑制を図りました。

例年の「シルバーフェア」開催のほか、(公社)秋田県シルバー人材センター連合会主催の「由利本荘市・にかほ市」シルバーフェアを開催し、会員の作品展・バザー・野菜の販売・各種講座のブース、障子・網戸張替え実演コーナーを行ない、チラシやポケットティッシュを配布して、シルバー事業のPRに取り組みました。

会報「ゆりほんじょう」を年2回発行し、会員参加のイベントや奉仕作業等の写真を掲載し、市内各公共施設にも備え置いたほか、ホームページにも掲載しました。

令和7年度の入会者は70名、退会者は68名で年度末会員は490名となり、前年

度末より2名の増加となりました。

2. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業委員会を3回開催し、計画に基づき安全パトロールなどを行いました。賠償責任保険対象事故は5件で減少傾向が続いています。傷害保険対象事故が4件で前年度より件数は減っていますが、死亡事故が起きてしまったため、「安全だより」に掲載して全会員に送付し注意喚起を図りました。

法令遵守を徹底するため「適正就業ガイドライン」に基づいた説明をし、適正就業の推進に務めました。

3. デジタル化整備促進事業

会員専用サイト Smile to Smile、ショートメッセージのサービス提供を開始し、操作方法の説明をセンターの窓口でも対応しました。

4. 地域社会への奉仕

シルバー人材センターのPRと地域社会へ貢献するため、全ての地区において公共施設での草刈りや清掃奉仕作業を実施し、会員をはじめ役職員が積極的に参加し、作業時にはシルバーの旗を立ててPRしました。

10月の「シルバーの日」には老人福祉施設の窓拭清掃、施設周辺の草刈り作業を行いました。

5. 技能講習の実施

(公社)秋田県シルバー人材センター連合会主催チェーンソー講習は受講者が15名、当センター主催の講習会の網戸・障子・襖張り講習会には、5名が参加しました。

6. シルバー派遣事業及び職業紹介事業の推進

請負・委任で対応できない就業に関して、(公社)秋田県シルバー人材センター連合会と連携して労働者派遣事業に取り組みました。

受注件数 39件 就業延日人員 3,242人日 契約金額 1,750万円で前年より430万円増加しました。

7. 財政基盤の強化

健全な運営基盤を確立するため、経常経費を抑制、事務の効率化に努めました。